

「命のビザ」杉原千畝夫妻顕彰活動2022

命のビザ・杉原千畝夫妻顕彰会



事業目的

人道の精神・国際感覚を養い、世代間交流をはかりたい

1940年7月、第2次世界大戦の前夜、ナチスドイツやソ連の迫害から逃れて来たポーランドやベラルーシの多くのユダヤ人難民が日本の「通過ビザ」を求めて、リトアニアのカウナスにあった日本領事館に集まった。対応したのが副領事の杉原千畝で、ビザ発給について本国の外務省に打診すると、返信は否定的なものだった。千畝は葛藤の末、「人命第一」とする人道の精神により職を賭してビザ発給することを決断した。この決断を支えたのが幸子夫人だった。当時、二人の間には小さな男の子3人がいた。2000余り発給されたビザにより救われた命は6000名にもおよび、後に「命のビザ」と言われるようになった。

今日でも民族迫害は世界各地で続いている。島国の日本でも政治的難民の扱いについて問題になっている。2022年2月にはロシア軍によるウクライナ進攻が始まり、いまだに続いている。「人道の精神」が世界に尊敬される日本人になるためにも大切になっている。お二人の偉業を伝えて学び、幸子夫人の誕生地である沼津の誇りとしたい。

現状と目標

杉原千畝の妻、幸子夫人が沼津出身ということを知っている市民はまだ知らない

一般市民はもちろんマスコミ関係者でさえ「幸子夫人の誕生地が沼津であったことは初めて知った」という声があった。新聞や『広報ぬまづ』2021年1月15日号で紹介されたが、お寺を訪れる人々、高校生、大学生に聞いてみると、「命のビザ」や幸子夫人の誕生地について認識されていないことが分かる。まだまだ一般市民、次代を担う世代に歴史的偉業が浸透していないというのが現状であり、顕彰活動を継続し発信し続けていくことが必要だと思う。

第2回 命のビザ希望の集い

令和4年 10月30日(日)

開演/11:00~

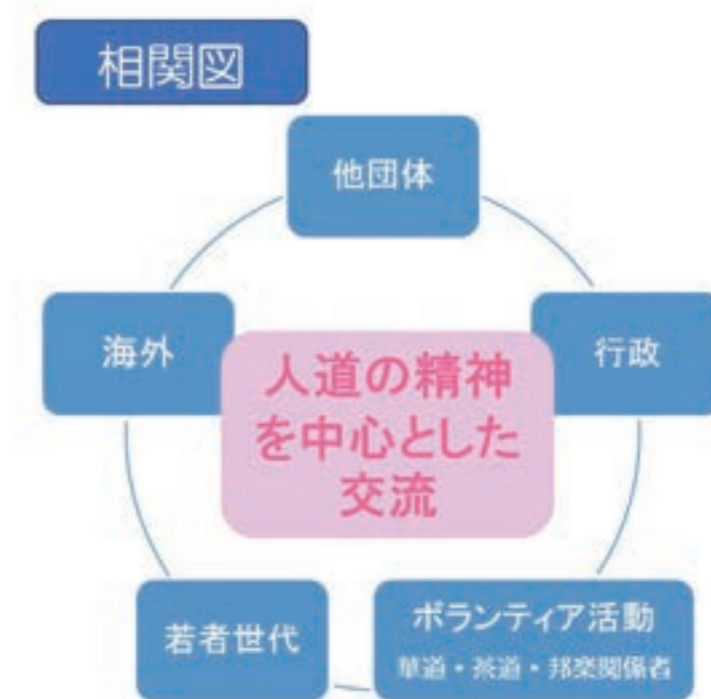
港口公園(杉原千畝夫妻顕彰碑前)



献茶



奉納演奏



第3回 命のビザ講演会

令和4年 11月20日(日)

開演/12:30 開演/13:00~

プラザヴェルデ3階 大会議室(301・302号室)

命のビザを繋いだ男 小辻節三

講師/山田純大(やまだ・じゅんだい)



イスラエル・コーヘン大使



リトアニア・ジーカス大使



ポーランド・文化担当

「空のない星~ホロコーストの子供たち~」パネル展

令和4年 11月17日(木)~21日(日)

10:00~18:00(最終日は12:00まで)

プラザヴェルデ 市民ギャラリー

主催 駐日イスラエル大使館

命のビザ・杉原千畝夫妻顕彰会



沼津市制100周年イベント 松の翠 邦楽演奏会

令和5年 3月5日(日)

開場/13:00 開演/13:30~

沼津市民文化センター(小ホール)

沼津市制100年を寿ぎ、一流の邦楽演奏家出演のもと人道の精神・伝統邦楽の永続を祈ります。

